

한통련 뉴스레터

제44호

発行:在日韓国民民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。（メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください）

정세 情勢

●10万人全国労働者大会に続いて梨泰院惨事追悼キャンドル集会…反労働・責任回避の尹政権を糾弾！



全国労働者大会で演説するヤン・ギョンス民主労総委員長

全国民主労働組合総連盟（民主労総）は11月12日午後、ソウル世宗大路で10万人の組合員が参加する中、「全泰壺（チョン・テイル）烈士精神継承2022全国労働者大会」を開催した。「労働改悪阻止・労組法改正・民営化中止要求」を掲げた大会では、ヤン・ギョンス委員長が大会辞を通じて、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の反労働・反民衆政策を糾弾した上で、労働者には労組を結成し活動する権利、闘う権利があり、損害賠償要求による仮押さえで労働三権を侵害してはならないと強調した。さらに、すべての労働者・民衆が団結して闘うことを訴えながら、そのための政治勢力化を推進すると主張した。

大会には全農、貧民解放実践連帯、韓国進歩連帯、汎民連南側本部、全国女性連帯など市民社会団体の代表らに加えて、正義党、進歩党、緑色党、労働党の代表らも参加した。全農のハ・ウォノ議長は連帯辞で「死なずに働く権利、解雇されずに働く権利のために闘う労働者と農民はいつも共にいる」と述べ、全国農民大会（11月16日）、全国民衆大会（12月3日）でも尹政権に対抗する闘いを労働者と共に繰り広げていくと明らかにした。

大会終了後、「梨泰院惨事、国家責任だ。責任者を処罰しろ」との基調で、梨泰院惨事の犠牲者

を追悼する市民キャンドル集会が大会労組員も参加する中、開催された。キャンドル集会は民主労総をはじめとする約100に及ぶ市民社会団体が主催団体となり、全国民衆行動が主管した。



12日夜に開催されたキャンドルデモ

集会では青年進歩党代表、全国公務員労組消防本部長、ヤン委員長、正義党代表に続いて進歩党のユン・フィスク常任代表が発言。ユン代表は「一線の警察・消防・公務員らに責任を転嫁する『しっぽ切り』による真相究明は許されない」とし、「梨泰院惨事は国家による明白な行政惨事であり、尹大統領が責任を負わなければならない」と強調した。惨事当日、救助を求める最初の112番（日本の110番）申告があった午後6時34分、参加者は携帯電話のフラッシュを一斉に消し犠牲者を追悼した。

労働者の生活を破たんさせ国民の生命と安全を守ろうとしない尹政権に対する怒りは、10万人全国労働者大会と梨泰院惨事追悼キャンドル集会を結合させた。全国民衆行動の朴錫運（パク・ソグン）共同代表は10日に開いた記者会見で「11月12日のキャンドルは始まりであり、以後、被害者と市民が共にする追悼行事などを続けていく計画」と明らかにしている。12月3日の全国民衆大会は尹政権糾弾の声がさらに集まる場となるだろう。

●【記事紹介】国家保安法廃止国民行動「公安弾圧に対する緊急記者会見」を開催

国家保安法廃止国民行動は11月10日、西大門警察署前で、前日9日に国家情報院と警察が6人の市民社会団体活動家の自宅と事務室を合同で家宅搜索する暴挙をはたらいたことに対する緊急記者会見を開き、「国家保安法による政権危機脱出用の公安弾圧をすぐさま中止しろ」と強く要求した。記者会見文を紹介する。

各界の宗教市民社会団体「政権危機脱出用の公安弾圧をすぐさま中止しろ」と強く要求 国家保安法廃止国民行動「公安弾圧に対する緊急記者会見」を開催

統一ニュース 2022年11月10日

記者会見文 政権危機脱出用の公安弾圧をすぐさま中止しろ

昨日（11月9日）、国家情報院（国情院）と警察が計6人の市民社会団体活動家の自宅と事務室を合同で家宅搜索するという事態が発生した。梨泰院惨事の苦痛と救助過程で展開された尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の無能さに対する国民的憤怒がいまだぬぐいきれてもいないのに、繰り返された今回の公安事件に私たちは驚愕している。

なんと反国家団体を組織したとする令状内容が決まりが悪いほどに、今回の家宅搜索はきちんとした捜査内容もなく進行した。国情院がつきだした令状には誰がつくったかも分からない「自統民衆前衛」という異常な団体名のほかに、組織の実態について何も書かれてなく、ありもしない事件をつくり出すために長時間にわたる家宅搜索を進行した。もし、反国家団体をつくったのが事実で証拠が確実ならば、なぜきちんとした組織の体系や綱領さえないままに急いで押し寄せたのか。

2016年に起こったことだとしながら、いまになり家宅搜索を執行するのも疑問だ。公安当局はここ数年間の公開的活動については言及せず、すでに数年すぎた海外旅行の経歴を問題視し会合通信の容疑をかけた。もし、公安当局が会合通信を尾行し確認したのならば、現場で逮捕すればよいのに、なぜいまになって突然に事件をつくり出す理由は何なのか。これは1960年代の東ベルリン事件や1970年代の在日同胞留学生スパイ事件でも使われた、非常に

典型的で旧態依然の公安ねつ造事件のパターンに違いない。

家宅搜索過程でみせた国情院と警察の反人権的行為も指摘せざるを得ない。カン・ウンジュ4・3民族統一学校代表に対する家宅搜索過程では、「車をあてた」とうそをついて自宅に侵入し、末期がん闘病中で思うように動けず横になっていたカン氏の病状に関係なく、午前零時を過ぎて16時間家宅搜索を強行し、結局カン氏は救急車で搬送されるという非人道的な振舞いをみせた。さらに、慶尚南道晋州に住むチョン・ユジン氏の場合は、子どもたちが登校する前に捜査官が押し寄せ、まだ幼い子どもたちにぬぐい切れない傷を残したりもした。

昨日一日で国家保安法で6人の市民が家宅搜索を受け、1人が逮捕された。本格的な公安政局の始まりが告げられた。公安当局のこうした無理な行為は、引き続き失政と経済難による危機に追い込まれた尹錫悦政権の局面転換用のカードだということは、だれでも推測できる事実だ。また、国家保安法に対する継続した憲法訴訟と憲法裁判所の違憲決定を前にし、組織縮小の危機に直面した公安当局の最後のあがきだということも国民はよく知っている。

尹錫悦政権と公安当局は市民をスケープゴートにする公安弾圧をすぐさま中止しろ。政権の危機を脱することは国民の声を制圧することではなく、みずから省察し国民の声に耳を傾ける時にこそ可能だ。もし、国民の声を閉じ込めるところに政権の生命線を求めるならば、結局、閉じ込められるのは国民ではなく尹錫悦政権自身となることを警告するものだ。

政権危機脱出用の公安弾圧をすぐさま中止しろ！
反人権的非人道的家宅搜索を糾弾する！
反人権反統一悪法国家保安法を廃止しろ！

2022年11月9日
国家保安法廃止国民行動
原文

<http://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=206613>

활동보고 活動報告

●尾澤孝司氏に対する弾圧事件裁判の初公判…さいたま地裁に公正な裁判を要求



公判に先立って開かれた集会で決意を語る尾澤氏（左から二人目）

韓国サンケン労組への支援運動中に発生した尾澤孝司氏に対する弾圧事件裁判の初公判が11月9日、さいたま地裁で開かれた。

開廷前、「尾澤孝司さんを支える会」と「韓国サンケン労組を支援する会」が裁判所に対して「公正な『無罪判決』を求める署名」を提出するとともに、公判を大法廷で行うことや、予断と偏見をやめ公平な裁判を行うことなどを申し入れた

が、裁判長は「このまま行こう」と返答。狭い傍聴席を5人の廷吏が威圧的に監視する中での公判となった。

当日の映像を見ながらの証拠調べでは、映像を傍聴者へ公開しないまま進行。傍聴者が抗議の声をあげると、裁判長は「裁判官に何を言っているか」と恫喝した。尾澤氏は冒頭陳述で逮捕・起訴の不当性を訴え、韓国サンケン労組の争議の意義を主張し、公正な裁判を重ねて要求した。

公判には韓国から韓国サンケン労組のオ・ヘジン元支会長が参加。オ元支会長は報告集会で「真実は沈まない、嘘は真に勝てないという言葉が韓国で広まりました。真実が何なのか、日本政府と資本が結託してつくり上げた嘘が何なのかということが、皆さんと尾澤さんの闘いによって明らかになると思います。私達も勝利の日まで闘います」と語った。

第2回公判は11月11日、第3回は11月22日、第4回は11月30日に開廷する。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連ユーチューブチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連ユーチューブチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCg8NZg52O1VTAMlgrXfqIQ>

韓統連インスタグラム

https://www.instagram.com/korea_htr/?hl=ja



韓統連ユーチューブチャンネル



韓統連インスタグラム

행사예정 行事予定

11月

第26回伊丹マダン(兵庫)

日時: 11月20日(日) 午前10時~午後4時 場所: 伊丹三軒寺広場 内容: ステージ公演(ちゃんへん、川口真由美、沖縄エイサー)、チョゴリ試着コーナー、子ども体験コーナー、パネル展示、屋台出店
主催: 伊丹マダン実行委員会 連絡先: 090-6065-4857 (川上)

韓統連セミナー(大阪)

日時: 11月20日(日) 午後2時 開会 場所: KCC会館 内容: シリーズ「ウリ現代史」第4回「国家保安法をなくすために」(講師-金昌範(キム・チャンボム) 韓統連大阪副代表委員) 参加費: 800円(青年学生は500円) 主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723 (チェ)

ハナ・マダンあまがさき

日時: 11月23日(水・祝) 午前11時~午後4時 場所: 尼崎中央公園 内容: ステージ公演(ちゃんへんさんのジャグリング、川口真由美さんの歌など)、展示コーナー、アジア各国の屋台 主催: ハナ・マダンあまがさき実行委員会 連絡先: 090-1242-3981

12月

時局講演会(大阪)

日時: 12月4日(日) 午後1時30分受付、2時開会 場所: KCC会館5階ホール 内容: 講演「新冷戦下における朝鮮半島情勢」(講師: 金昌五(キム・チャンオ) 韓統連大阪本部副代表委員) 参加費: 1000円(青年学生は500円) 主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723 (チェ)

韓統連愛知セミナー

日時: 12月4日(日) 午後1時30分受付、2時開演 場所: 名古屋市公会堂 第7集会室 内容: 講演「世界情勢の激変と朝鮮半島の平和」(講師: 康宗憲(カン・ジョンホン) 韓国問題研究所代表) 資料代: 1000円 主催: 韓統連愛知本部 連絡先: 090-3930-8815 (キム)

韓統連広島セミナー2022

日時: 12月11日(日) 午後1時30分受付、2時開始 4時30分終了予定 場所: 広島市西区民文化センター 大会議室C 内容: 講演「尹錫悦政権と朝鮮半島情勢」(講師: 宋世一(ソン・セイル) 委員長) 参加費: 1000円 主催: 韓統連広島本部 連絡先: 090-3372-0993 (ユン)

1月

「私はチョンソンスラムです」広島上映とトークイベント

日時: 1月28日(土) 第1回上映 午後1時~2時40分 トーク 午後2時50分~4時10分 第2回上映 午後4時30分~6時10分 場所: 広島県立美術館講堂 内容: 映画上映、トークイベント(李哲・在日韓国良心囚同友会代表、広島朝鮮初中級学校関係者) 料金: 前売1500円、当日1800円 主催: 映画「私はチョンソンスラムです」広島上映実行委員会 連絡先: 090-7540-0332

編集後記

韓国から日本に戻って数週間ですが、国内招請事業(前号で報告)の日々が懐かしく感じられます。モンダンヨンピルの仲間たちとはたびたび連絡を取り合っていますが、あちらも活発に活動しているようで、励まされます。いよいよ今年もあとわずか。元気にラストスパートしていきましょう!(李)